

厚木基地における艦載機による離着陸訓練の中止を求める要請

貴職におかれましては、連日のご活躍に敬意を表します。

さて、厚木基地周辺住民は、昨年 11 月の米空母入港以来、艦載機の飛行が間断なく繰り返され、すさまじい爆音に悩まされ深刻な被害を受け不満と怒りが増大している。

このような中、さる 5 月 24 日、米空母ジョージ・ワシントン艦載機による離着陸訓練を硫黄島において、6 月 1 日から 6 月 11 日までの期間実施するとの通知があった。

その後、訓練日程を運用上の理由として 6 月 12 日まで延長すると通知した後、さらに 6 月 14 日まで延長するなどと訓練日程を再三にわたり延長しているところである。

それにも関わらず、さる 6 月 14 日には、更なる訓練日程の延長理由と延長期間を明らかにせず基地周辺住民に通知してきていることは、連日艦載機の離着陸により多大な爆音被害を受けている厚木基地周辺住民にとっては、受忍の限度を超える耐えがたい爆音であり、到底容認できるものではない。

貴職におかれましては、艦載機による爆音に苦しむ厚木基地周辺住民の心情を理解され、このように訓練日程が再三にわたり延長実施されている理由を明らかにするとともに、厚木基地における艦載機による離着陸訓練を即時中止するよう強く要請する。

2013 年 6 月 18 日

南関東防衛局座間事務所
所長 中村信次 殿

厚木基地爆音防止期成同盟
委員長 大波修二